

# 【特集】みんなでつくる 新しい新発田のシンボル

～市役所新庁舎・新発田駅前複合施設の建設工事が順調に進行中～

問合せ先(☎22-3101)

- 市役所新庁舎  
総務課新庁舎移行準備係
- 新発田駅前複合施設  
みらい創造課都市再生室



## 市役所新庁舎

新発田の歴史的なまちなみと調和し、周辺商店街との連携により、中心市街地の核となる庁舎を目指しています。  
単に行政手続きだけで訪れる場所ではなく、イベントや休憩などでも皆さんに利用してもらえる「身近な庁舎」として、まちなかのにぎわいを創出していきます。

イベントなどでも利用できる身近な庁舎に

### 議場(屋内)

可動壁を設置し、議会閉会時にコンサートや講演会、展示会、イベントなどに対応できる空間にします

現場見学会の様子



### 札の辻広場

商店街から連続する半屋内の広場です。季節や天候に応じて開閉可能な大型シートシャッターを備え、さまざまなイベントに対応できます。また、1階屋内の「札の辻ラウンジ」との一体利用も可能です

### テラス・庭園

屋外にテラスと庭園を設け、皆さんの憩いの場として活用できます。隣接する屋内ラウンジは、くつろぎの場として利用できます

## 新庁舎建設現場の作業所長にインタビュー



新庁舎建設現場事務所  
作業所長 樽味信彦さん

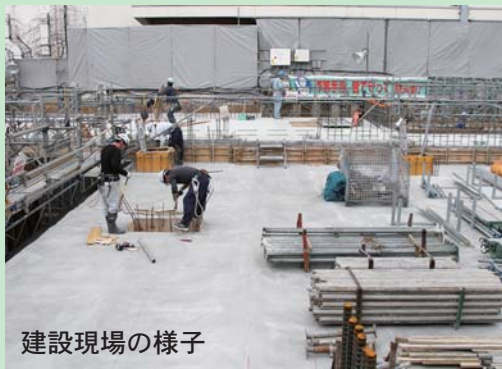
昨年7月に着工した新庁舎の建設工事は順調に進んでいます。現在は地下の躯体工事がほぼ完了し、1階部分の床が出来た状態です。

この建物は、1階から3階までは鉄筋コンクリート造、4階からは鉄骨造で、3階柱頭に免震装置を設置する構造が特徴です。ガラス張りの外観は、新発田のまちに新しい風が吹くような感覚を与えてくれることでしょう。また、通気の良いサッシの構造や省エネ・快適性に配慮した空調など、随所に工夫が見られます。

私は金沢市出身ですが、新発田は祭りが盛んだと

聞いていたので、「札の辻広場」は大いに活用できると思います。また、閉会時の議場やテラスなど、市民の集まる場がある庁舎は珍しいですし、商店街の活性化にもつながるものご期待しています。

この秋に計画されている市民の皆さんを対象とした建設現場の見学会では、鉄骨が立って見応えがある状態になっている予定です。完成前の姿を見ることが、より愛着が湧くものだと思います。今後も計画どおり、安全に工事を進めていきます。



建設現場の様子



未来の子どもたちに引き継ぐ「まちの顔」として、誰からも愛される施設を目指しています。こどもセンターやキッチンスタジオ、図書館などを配置し、子どもから高齢者まで、誰もが思い思いの時間を過ごすことができる空間になります。駅を利用する方は待合スペースとして、学生は学習の場としてなど、さまざまな利用ができます。



こどもセンター

こどもセンターの広さは、現在、市内2か所にある親子プレイルームの合計面積の約3倍。年齢別に3つのエリアで構成するプレイルームは、天候に関係なく伸び伸びと遊べるスペースです。「知」の交流を育むため、児童図書スペースを隣り合わせます



児童図書

児童図書の書架の高さを低く抑え、プレイルームやキッチンスタジオでの活動を見渡すことができるようにします。また、じゅうぶんな座席数を確保し、親子で絵本を読みながら、きずなを深めることができる空間にします



キッチンスタジオ

ガラス張りなので、子どもでも保護者の存在を感じながら、安心して調理することができます。また、食育や観光イベントなどでも利用できるので、市外から訪れた方に新発田をPRする場にもなります



現場見学会で感じたこと

インタビュー

将来、設計や施工の仕事に就きたいという夢をもって日々勉強している新潟職業能力開発短期大学の学生と、その夢の実現のために学生をサポートしている先生に、今回の現場見学会で感じたことなどをお聞きしました。



住居環境科  
職業能力開発指導員  
矢部俊太郎さん

**住** 居環境科では、年1回の建物見学を行っています。建設現場の見学は今回が初めてでした。現場の最前線で働く設計者・施工者の話を直接聞いたことや、建物が出来上がってくると隠れてしまう構造部分を見学できたことは、貴重な経験になりました。授業でも学びますが、実際に現場を見たことで、今後はイメージしやすくなると思います。

両施設とも、「留まって見てもらう、体験してもらう」という機能があり、新発田駅前から新庁舎、新発田城へと人の流れを作るという面で、核になる建物だと思います。今後は、住居環境科で商店街についても学習し、活性化のための提案などができればと考えています。

新庁舎も複合施設も、計画段階から市民と意見交換をしてきたと聞いているので、完成後も皆さんから受け入れてもらえる施設になると思います。今後は、建設工事の節目ごとに見学会ができればと思っています。



住居環境科  
佐藤鴻介さん  
(2年)



住居環境科  
渡邊大夢さん  
(2年)

**将** 来は設計事務所か住宅メーカーで設計の仕事をしたと考えています。建設現場を初めて見ましたが、想像をはるかに超える規模でした。自分が勉強している住宅とは違う大きな建物の設計について知ることができ、参考になりました。現場では、多くの方が協力しながら一つの建物を造っていて、自分も将来そのように働きたいと思いました。

新発田駅前に出来る複合施設は、市外の人にも新発田のシンボルとして目に留まると思います。また、子どもの遊び場とキッチンスタジオを同じ階に配置したり、近くに料理の本を置いたりするなど、設計が工夫されているなと感じました。

新庁舎も複合施設も、市民の声を中心に考えて設計されています。私もお客様の考えを大切にしながら住宅づくりをしていきたいと思いました。

**建** 築施工管理技士を目指す私にとって、今回、仮囲いの中に入って建設現場を見れたことは、とてもよい経験になりました。新庁舎は、新発田の景色や文化、環境などを考慮して設計したと聞き、授業の中で活かしたいと思いました。

今の商店街は、シャッターが閉まっている店が目立つので、新庁舎が出来ることによって人が集まり、にぎわいがあればいいなと思います。設計の授業でも、「家づくりとともにまちづくりも考える」ということを学んでいます。ただの建築ではなく、まちをにぎやかにしていくということも一つの考え方だと思います。

2年という長い工期の中で、どのように建設工事が進んでいくのかを、できる限り自分の目で見て勉強し、将来に活かしていきたいです。